

2021年度予算書の概要

学校法人 神戸薬科大学

2021年度予算書は、2020年12月16日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱を基に、その内容の見直しを行うとともに、予算大綱作成時以降に採り上げた新規予算項目を織込み作成した。主な予算書である資金収支予算書及び事業活動収支予算書の概要については以下のとおり。

1. 資金収支予算書

(1) 資金収入

前年度に計上した岡本寮売却に伴う資産売却収入の計上がなくなる一方で、キャンパス整備計画に係る新2・3号館（仮称）及び防災管理センター（仮称）の新築工事に対応すべく減価償却引当特定資産取崩その他の収入に計上するため、単年度の収入の合計は前年度比704,100千円増の4,654,100千円を見込む。

【科目別内容】

① 学生生徒等納付金収入

学部納付金は学生数を前年度と同数の1,675名（新生270名、2年次～6年次生1,405名）と想定し2,974,000千円と見込み、入学金145,400千円、大学院納付金10,800千円及びその他と合わせて前年度比3,000千円減の3,134,200千円を計上した。

② 手数料収入

学部入学検定料は入学志願者数を前年度比100名減の2,300名と想定し、前期比3,500千円減の74,500千円を見込むが、エクステンションセンター手数料他の増加により前年度比2,000千円増の89,200千円を計上した。

③ 寄付金収入

研究奨学寄付11,000千円、同窓会からの寄付金2,000千円、奨学金寄付1,000千円、桔梗育友会からの寄付1,000千円で前年度比10,000千円減の15,000千円を計上した。

④ 補助金収入

経常費国庫補助金250,000千円、高等教育修学支援にかかる授業料等減免交付金42,000千円他で前年度比1,500千円増の292,800千円を計上した。

⑤ 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は如修塾の寮生の増員により前年度比2,200千円増の22,500千円を計上する一方で、受託事業収入は前年度比3,500千円減の5,000千円を計上、合わせて前年度比1,300千円減の27,500千円を計上した。

⑥ 受取利息・配当金収入

運用資金の期中平残予想125億円を、利回り平均約0.32%で運用するとして、前年度比1,300千円減の39,600千円を計上した。

⑦ 雑収入

退職金財団からの退職資金交付金19,200千円、科研費間接経費18,000千円、企業との共同研究経費5,000千円他で前年度比15,000千円増の49,200千円を計上した。

⑧ その他の収入

減価償却引当特定資産1,000,000千円や研究充実準備積立金11,000千円の取崩しを計上する一方で前年度計上した前期末未収入金133,700千円や第2号基本金引当特定資産（大型機器充実資金）27,000千円の計上がなく、前年度比855,500千円増の1,023,600千円を計上した。

(2) 資金支出

キャンパス整備計画に係る2号館、3号館、9号館解体工事費用の教育研究経費・管理経費への計上や、新2・3号館（仮称）及び防災管理センター（仮称）新築工事に伴う施設関係支出への計上により、単年度の支出の合計は前年度比1,238,400千円増の5,220,400千円を見込む。

【科目別内容】

① 人件費支出

人件費支出は、教員85名、職員45名、教育研究支援職員16名及び非常勤教員とアルバイト職員他の給与に加え、定年退職者2名の退職金37,900千円を合わせ前年度比114,700千円増の1,674,300千円を計上した。

②教育研究経費

教育研究経費支出は、長期実務実習・共用試験関係費 256,400 千円、電子ジャーナル・データベース使用料 78,600 千円、応急援助奨学金 54,000 千円、高等教育修学支援奨学金 42,000 千円、学長裁量経費 25,000 千円などの経常経費に加え、2号館、3号館解体費用 288,800 千円、特待生入試制度奨学金 9,000 千円、COVID-19 対策費用 9,000 千円、情報環境整備費用（ネットワーク回線増強他）4,000 千円などの予算措置により前年度比 346,400 千円増の 1,572,200 千円を計上した。

③管理経費支出

管理経費支出は、経常経費に加え、9号館他解体費用 41,200 千円、地積測量・境界確定費用 3,100 千円、90周年広報関連費用 3,000 千円などの予算措置により前年度比 38,400 千円増の 310,300 千円を計上した。

④施設関係支出

新2・3号館（仮称）及び防災管理センター（仮称）新築工事 1,195,000 千円、4号館総合教育研究センター改修 17,000 千円で 1,212,000 千円を計上した。

⑤設備関係支出

設備関係支出は、動物実験施設ケージウォッシャー設置 11,000 千円、5号館設備修繕 9,500 千円、業務用サーバ・ウイルスチェックサーバ更新 8,800 千円、11号館他消防設備修繕 6,000 千円、4号館共用部他LED照明更新 4,700 千円、6号館熱源機器修繕 3,700 千円、関係委員会選定の研究用機器 25,500 千円や実習用機器 8,100 千円他で 115,100 千円を計上した。

⑥資産運用支出

第2号基本金引当特定資産（教育環境整備資金）300,000 千円、研究充実準備積立金 25,000 千円の各積立により 325,000 千円を計上した。

(3)繰越支払資金

単年度の収入 4,654,100 千円から単年度の支出の合計 5,220,400 千円を差し引いた収支は 566,300 千円の支出超過となることから、翌年度繰越支払資金は期首から 566,300 千円減の 709,000 千円となるが、前受金収入 389,300 千円は維持できる見込み。

2. 事業活動収支予算書

(1)教育活動収支

収入については、学生生徒等納付金、寄付金、付随事業・収益事業収入が減額を見込む一方で、手数料、経常費等補助金、雑収入は増額を見込み、全体で前年度比ほぼ横這いの 4,200 千円の増額を見込む。一方、支出については、人件費、教育研究経費、管理経費の大幅な増額により、全体で前年度比 503,600 千円の増額を見込み、収支は 509,300 千円の支出超過（前年度比 499,400 千円減）を見込む。

(2)教育活動外収支・特別収支

教育活動外収支は受取利息・配当金の収入のみの計上であり、39,600 千円の収入超過（前年度比 1,300 千円減）を見込む。この結果、教育活動収支と教育活動外収支の合計である経常収支は 469,700 千円の支出超過（前年度比 500,700 千円減）を見込む。特別収支は2号館、3号館、9号館解体に伴う資産処分差額の計上により、257,700 千円の支出超過（前年度費 206,000 千円減）を見込む。

(3)基本金組入、取崩

施設関係支出 1,212,000 千円、設備関係支出 115,100 千円、資産運用支出のうち第2号基本金引当特定資産 300,000 千円で計 1,627,100 千円の組入を行う一方、2号館、3号館、9号館他の解体や機器・備品の耐用年数経過に伴う除却に伴い 1,779,700 千円の取崩を行うため、差し引き 152,600 千円の基本金取崩を見込む。

(4)繰越収支

経常収支に特別収支及び予備費 20,000 千円を加えた基本金組入前当年度収支は 747,400 千円の支出超過（前年度 706,700 千円減）を見込む。これに基本金 300,000 千円を組入れした当年度収支は 1,047,400 千円の支出超過（前年度比 654,900 千円減）となり、さらに前年度繰越収支 29,600 千円の支出超過、基本金取崩 452,600 千円を加えた最終的な翌年度繰越収支は 624,400 千円の支出超過（前年度比 594,800 千円増）を見込む。